

技術士制度活用 WG の活動状況について

平成 21 年 8 月

(社)日本技術士会 原子力・放射線部会 技術士制度活用 WG

1. WG の設立経緯、目的

原子力法制の在るべき姿を産官学で検討することを目的に、平成 18 年 3 月に東京大学原子力法制研究会が立ち上げられ、法制度と許認可制度の在り方が検討されている。

平成 20 年 9 月 19 日の原子力・放射線部会の例会において、東京大学班目先生より「原子力法制度と技術士の役割」とのテーマでご講演いただき、国民からの原子力への信頼確保には、“技術力を認められた技術士が設計・製造・運転・保守の実施状況を確認する”という第三者認証制度を確立し、技術士がその役割を果たしていくことが重要とのご指摘を頂いた。

平成 20 年度後半に原子力法制研究会の中に、「工認・使用前検査 WG」が設置され、工事認可申請図書（強度計算書等）の審査や使用前検査の在り方を検討することとなり、日本技術士会からも WG 委員として参加することとなった。

このような背景の下で、日本技術士会では「技術士が許認可事項審査をすることによる有効性を評価し、技術士制度を活用した審査の実現」を目的として、平成 21 年 1 月、原子力・放射線部会に技術士制度活用 WG を設立した。

2. WG の検討項目

- ・ 工事認可申請図書（強度計算書等）の審査を技術士が行う第三者認証制度についての課題、対応策の検討（当面の重点検討項目）
- ・ 現行の規制制度下で、工事認可申請図書（強度計算書等）の審査を技術士が行う仕組み（品質保証活動を含む）の検討（当面の重点検討項目）
- ・ 技術士制度活用のロードマップ見直し、アクションプラン作成、班目先生提案対応（今後の検討項目）

3. WG メンバー

- ・ 委員； 阿部定好、青木照美、伊藤晴夫、○桶谷浩一郎、桑江良明、◎佐川渉、園田幸夫、高木純一、高橋聡、○辻昭夫、中野智仁、成川薫、浜崎学、林克己
- ・ 随時参加者； 原子力・放射線部会幹事
 - ◎ WG 主査
 - WG 幹事（将来法制への活用提案；桶谷幹事、
現行法制での活用検討；辻幹事、中野幹事）

なお、本 WG は技術士個人として参加であり、所属組織の代表ではない。

4. WGの活動状況

これまでに4回のWG会合を開催し、主に技術士が工事計画認可申請資料を審査するために必要な要件やそれに関連する制度について協議をしてきた。活動内容の概要を以下に示す。

- ・平成20年10月～12月 WG設立準備
- ・第1回技術士制度活用WG（平成21年1月16日 葦手第二ビル5階A会議室）
 - WG設立趣旨説明
 - 東大原子力法制研究会の状況報告
 - 本WGでの検討項目とスケジュール
 - 本WGの体制協議
- ・第2回技術士制度活用WG（平成21年3月6日 葦手第二ビル5階C/D会議室）
 - 技術士が工事計画認可申請資料を審査することの協議
 - 技術士による設計図書審査形態の協議
 - 他産業（鉄道事業）での技術士の位置付け
- ・第3回技術士制度活用WG（平成21年5月15日 葦手第二ビル5階C/D会議室）
 - 第2回工事計画認可・使用前検査WGの状況報告
 - 技術士が工事計画認可申請資料を審査することの要件と体制案の協議
 - 日本電信電話公社の民営化に伴う制度改正の内容紹介
 - 原子炉主任技術者の法的位置付けと独立性
- ・第4回技術士制度活用WG（平成21年7月23日 電源開発本店502会議室）
 - 平成20年度東大原子力法制研究会「技術と法の分科会」工認WGの報告書、原子力学会、基本政策小委員会等の検討状況
 - 「技術士制度活用WG」活動報告書（中間報告）の内容協議

なお、WG議事録については、部会員専用HPに掲載している。

5. WG活動報告書（中間報告）

これまでの検討結果を中間報告書（平成21年8月）としてまとめ、部会員専用ページに掲載した。

部会員からのご意見、ご提案を歓迎します。